

株主メモ

| | |
|-----------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 株主確定基準日 | (1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当を実施する場合 9月30日 (3)その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目7番20号 日本証券代行株式会社 名古屋支店 電話 052-261-1781(代表) |
| 郵便物送付先 お問合せ先 | 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 当社のホームページに掲載します。 http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。 |

ホームページのご案内

<http://www.kanefusa.co.jp>

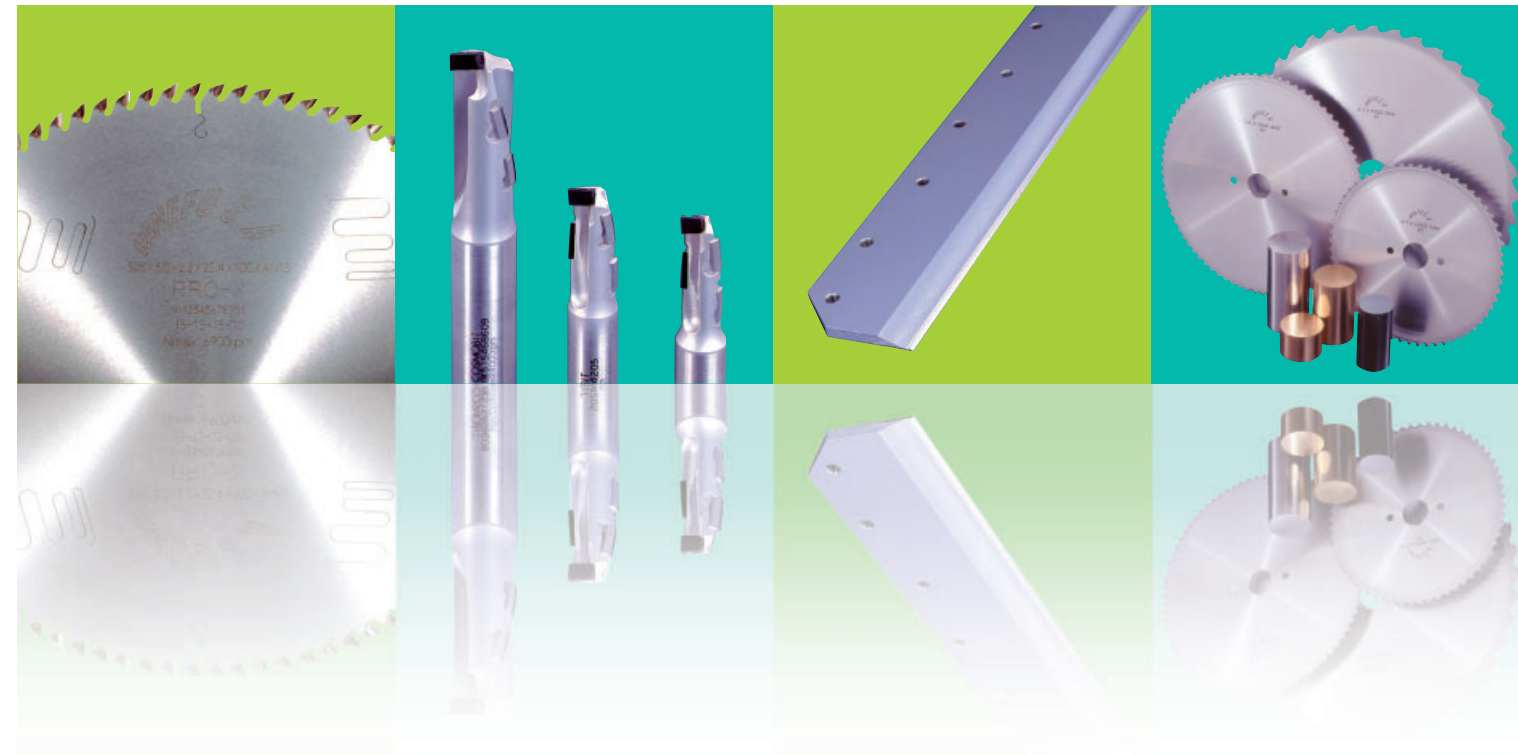
当社ホームページでは、財務データやトピックス情報など、最新のIR情報や製品情報などをご覧いただけます。



KANEFUSA

第62期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



① 株主の皆様へ

③ Special Issue
・兼房テクノロジー&エコロジー

⑤ 営業の概況

⑦ 連結財務諸表
・連結貸借対照表
・連結損益計算書
・連結キャッシュ・フロー計算書

⑨ 海外現地法人紹介
・カネフサインディアPvt.Ltd.

⑩ Information
・会社概要
・役員
・株式の状況

免責事項

本中間報告書に掲載されている当社の計画・戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。将来予測に関する記述に全面的に依拠することはお控えいただきますようお願いいたします。

株主の皆様へ

刃物業界のリーディング・カンパニー カネフサの底力を、今こそ発揮したい



取締役社長

渡邊 将人

Q 当中間期(2010年3月期中間)の業績についてお聞かせください。

ご存知の通り、昨年9月以降、サブプライムローン問題を契機に世界経済は大きな打撃を受けました。当社も、昨年10月からの1年は本当に厳しい年になりました。中でも1月から4月まではまさに“底”というべき状態で、この期間は国内外あわせて、すべての業種で需要が低迷、アメリカ、ヨーロッパでは特に自動車関連の落ち込みが激しい状況でした。加えて円高の影響もあり、海外市場に関しては、一時売上が前年比3割強にまで下がる事態となりました。しかし、今年夏以降はアジア市場を中心に回復基調にあります。中でも中国、そしてインドは今後大きく期待できる市場に育ちつつあります。今年8月以降は以前の7割くらいまで回復してきており、在庫調整も年内には終わるだろうという見通しを立てています。

Q 今年度下半期の重点的な取り組み事項は？

回復の道筋が見えたとはいえ、下半期に関しては依然不透明な部分が多い状況です。しかし、こんな時期だから

こそ、今しかできない施策を打つことでカネフサの存在感を市場にアピールしていきたいですね。

海外ではインドに子会社を設立、年内にも稼働を予定しています。販売を手始めに、大がかりな設備投資を要しないメンテナンスサービスや刃物の再研磨サービスも進めていきます。こうしたキメ細かなサービスを徹底することで、お客様との信頼関係を深め、新しいビジネスチャンスを獲得していくつもりです。このメンテナンス・再研磨は、インドだけではなく、どの地域でもニーズの高いサービスです。国内では確立された再研磨市場があり、直接的に参入するのではなく、「カネフサ・テクニカルフォーラム」という仕組みを通じて再研磨業者さんのネットワークをつくっております。海外ではそれぞれの国によって再研磨市場の様子が異なるので、アメリカ、インド、中国それぞれの状況に応じて新しい市場を拓いていくつもりです。新しいエリアとしては、ブラジルへの進出に向けて、現在準備を進めている最中です。

国内では既存のお客様に対し、より一層のシェア・アップを図るため、刃物に関する勉強会や工場診断を開催しています。すでに数十社で研修を実施しましたが、こうした信頼関係を作っていくことが、将来のビジネスチャンスになるはずですよ。

カネフサの経営基盤は技術、人材、設備、規模…、どれを取っても同業他社には負けない素地がある。こんな例がありました。あるお客様との取引で、カネフサの占有率は4割ほどだったのですが、他社と差別化した製品を開発することで、占有率を倍増することができた。この評判を聞いて、これまで取引実績のなかったお客様から「そんなにいい製品なら一度試してみたい」という引き

合いが来るようになりました。持ち前の優位性をもっとお客様にアピールすることで、取引先での占有率を更に高めていくつもりです。

Q 環境対応製品を出されていますが、カネフサとしての環境貢献はどのようにお考えでしょうか。

カネフサでは2つの環境、自然環境と現場の労働環境への配慮をしています。たとえば丸鋸を薄型にすることで素材の歩留まりを向上させる技術や、刃先に使われるレアメタルの節約技術など、自然環境に配慮した製品づくり。一方、丸鋸の台金に粘弾性樹脂を施したスリットを入れることにより実現した低騒音刃物、これは現場作業の負荷を軽減する目的で開発されました。刃物メーカーとしてできることは、まだまだあるはずですよ。今後とも環境に配慮した製品づくりを進めていきます。

Q 最後にりましたが、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

いまだ逆風が続く中、業界のリーディングカンパニーとしてやるべきことを着実に進めていくつもりです。まだまだ市場の中に、カネフサにしかできないことがたくさんあります。こうした課題に向けてひとつずつ、地道な努力を重ねていく所存です。どうぞ引き続きご支援のほど、よろしく申し上げます。

地球環境にも配慮した兼房の最先端技術

創業者が情熱を注ぎ込んだ伝統に基づく鍛冶技術と、最新の加工処理技術。

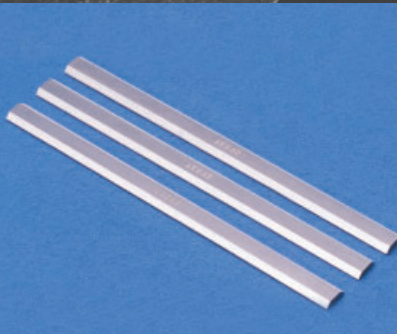
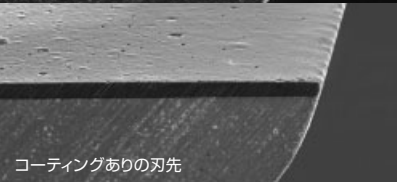
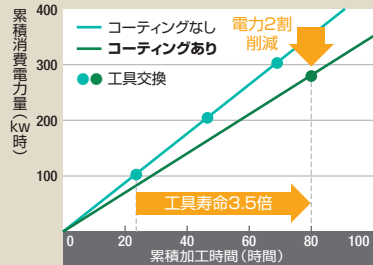
兼房のテクノロジーは、積み重ねられてきた「理論と経験」の融合によって支えられています。

そして、そのテクノロジーを用いて開発された環境配慮型製品によって

地球環境への負荷を軽減する。それが兼房のエコロジーです。

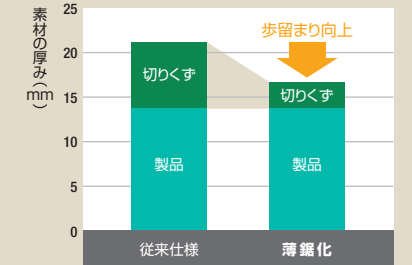
1 消費電力削減を可能としたコーティング技術

世界で認められた「自己研磨特性」を持つ兼房のコーティング技術。それぞれの加工条件に適した母材と膜質の最適化によって切れ味を向上。これにより、工具の長寿化と当社従来品比、消費電力20%削減を可能としました。



3 歩留まり向上を可能とした薄鋸化技術

独自に開発したミスト噴霧システムにより、摩擦を少なくすることで薄鋸化が可能となり、台金焼けや台金変形による製品不良を低減。これにより、当社従来品比、製品素材の歩留り12%、消費電力22%削減を可能としました。



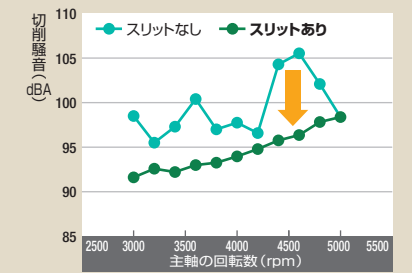
2 レアメタル使用量削減を可能としたマイクロ化技術

当社独自の接合技術によって超硬合金を切れ刃部だけにマイクロ化することに成功。これにより、レアメタルである超硬合金使用量を当社従来品比93%削減とし、大幅な省資源化を可能としました。



4 作業環境の改善を可能とした静音化技術

丸鋸の台金に粘弾性樹脂を施したスリットを入れることにより、台金が切削中に横方向に振動しようとするエネルギーを吸収。振動を伴うことなく滑らかに切断できるため、切削騒音を当社従来品に比べ大幅に低減することを可能としました。



概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価は緩やかな回復基調にはあるものの、昨年の秋以降の世界同時不況から脱しきれておらず、輸出関連企業を中心とした企業収益の大幅な減少や生産・在庫調整、雇用情勢の悪化など、依然として厳しい状況が続いております。一方、世界経済につきましても、各国政府による景気対策効果などにより一部では景気回復の兆しが出始めてきましたが、世界全体では未だ不透明であり、予断を許さない状況にあります。

当社製品と関連の深い国内住宅関連産業におきましては、新設住宅着工戸数は景気低迷や住宅の買い控えなどから減少し、厳しい状況で推移いたしました。

売上高

当社グループは経費削減に努めるとともに、受注確保のため営業活動に注力いたしました。しかしながら、国内外の需要の低迷と在庫調整の影響を大きく受け、売上・生産ともに大幅な減少となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億6千1百万円となりました。

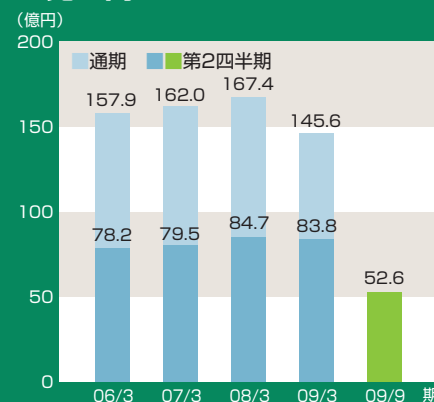
経常利益

利益面につきましては、売上高の減少が売上総利益を大きく圧迫し、営業損失は5億6千5百万円、経常損失は5億7千万円、また、特別利益で旧東京支社の土地・建物の売却に伴い固定資産売却益2億8百万円を計上し、四半期純損失は2億5千2百万円となりました。

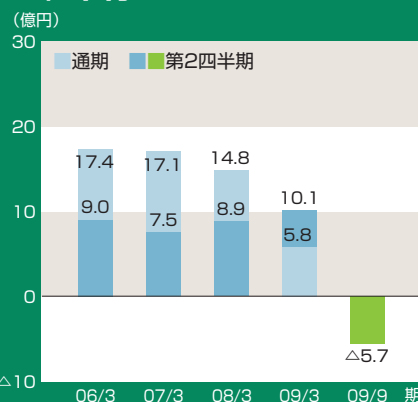
通期の見通し

通期の連結業績としましては、売上高122億2千万円（前年同期比16.1%減）、経常損失4億8千万円、当期純損失2億2千万円を見込んでおります。

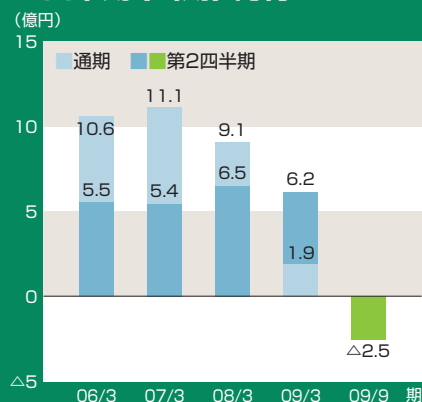
売上高



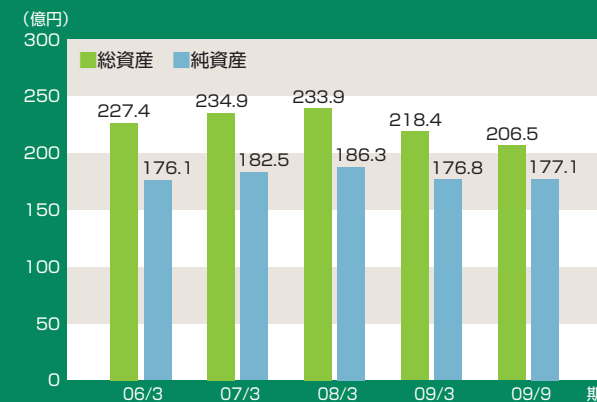
経常利益



四半期(当期)純利益



総資産・純資産



新製品情報

ダイヤコスモビット ZERO

特徴

好評のダイヤコスモビットシリーズに、折損、破損、刃先チッピングのリスクが高い加工用途向けとして、このZEROを開発しました。

刃金ダイヤの微小化に成功し、再研磨なし「メンテナンスフリー」でコストパフォーマンスを発揮します。

用途

化粧ボード、外壁材などの端面加工、くり貫き加工、溝加工等



連結財務諸表

総資産

受取手形及び売掛金などが減少したことなどにより、前期末に比べて11億8千8百万円減少して206億5千8百万円となりました。

負債

支払手形及び買掛金、役員退職慰労引当金の減少などにより、前期末比12億1千8百万円減少して29億4千3百万円となりました。

純資産

利益剰余金が四半期純損失計上および期末配当支払により前期末比3億2千1百万円減となりましたが、為替換算調整勘定が前期末比2億9千7百万円増加、その他有価証券評価差額金が前期末比5千4百万円増加したことなどから、前期末比2千9百万円増加の177億1千4百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の81.0%から85.8%となりました。

連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

| 科目 | 期別 | 当第2四半期末 平成21年9月30日現在 | 前期 平成21年9月31日現在 |
|----------------|----|-------------------------|--------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | | 10,302,277 | 11,135,504 |
| 固定資産 | | 10,355,776 | 10,710,856 |
| 資産合計 | | 20,658,054 | 21,846,361 |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | | 2,043,119 | 2,868,834 |
| 固定負債 | | 900,143 | 1,292,724 |
| 負債合計 | | 2,943,262 | 4,161,558 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | | 17,558,137 | 17,880,094 |
| 評価・換算差額等 | | 156,654 | △195,292 |
| 純資産合計 | | 17,714,791 | 17,684,802 |
| 負債純資産合計 | | 20,658,054 | 21,846,361 |

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで | 前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで |
|-------------------------------|----|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高 | | 5,261,687 | 8,388,400 |
| 売上原価 | | 4,010,726 | 5,261,446 |
| 売上総利益 | | 1,250,961 | 3,126,953 |
| 販売費及び一般管理費 | | 1,816,464 | 2,178,645 |
| 営業利益又は営業損失(△) | | △565,503 | 948,307 |
| 営業外収益 | | 109,315 | 82,754 |
| 営業外費用 | | 114,791 | 15,701 |
| 経常利益又は経常損失(△) | | △570,979 | 1,015,360 |
| 特別利益 | | 280,236 | 2,034 |
| 特別損失 | | 89,838 | 11,555 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | | △380,581 | 1,005,839 |
| 法人税等 | | △128,187 | 384,166 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | | △252,393 | 621,673 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:千円

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで | 前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで |
|---------------------|----|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 214,662 | 1,066,595 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | 462,743 | △1,720,889 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △88,767 | △139,226 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 7,579 | △24,656 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:△) | | 596,216 | △818,177 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 2,444,886 | 3,920,062 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | | 3,041,103 | 3,101,885 |

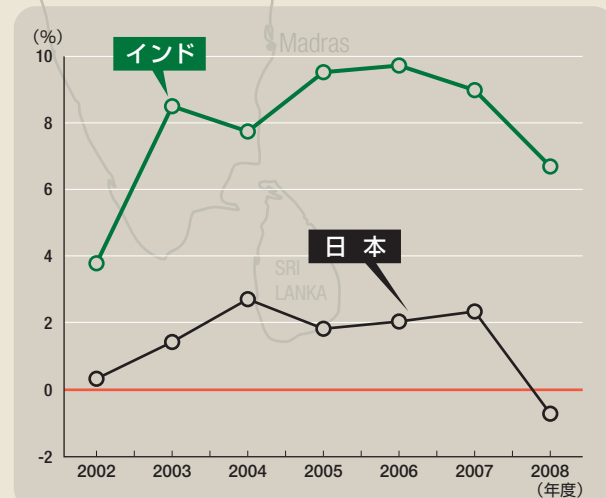
急成長を遂げるインド市場に向けて 現地販売子会社「カネフサインディア Pvt.Ltd.」がスタート

アジアで安定した成長を続けるインド。総人口14億人の市場は次世代の経済大国として位置づけられています。中でも自動車産業は、好調な内需拡大に加えて、品質向上とコスト競争力を背景とした輸出拡大により、成長を加速しています。2008年には自動車生産台数が231万台に拡大。世界的不況の中でも、2009年は前年並を維持すると期待されています。

カネフサではこのインド市場進出に向け、2008年より準備を進めてきましたが、2009年内には営業をスタートする予定です。当初は現地の自動車関連企業への関連刃物および再研磨サービスを提供しつつ、新規の受注開拓を目指していきますが、順次自動車関連以外の刃物も販売していく計画です。



●インドの実質経済成長率推移(季節調整値)



(資料:総務省ホームページより)

Information

会社概要 (平成21年9月30日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | 兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION |
| 設立 | 昭和23年11月25日 |
| 資本金 | 21億4,250万円 |
| 本社所在地 | 愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地 |
| 従業員数 | 589名 |
| 主要な事業内容 | 工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。ならびに、関連する事業に対する投融資および技術供与。 |
| 主要な事業所 | 本社・工場 愛知県丹羽郡大口町 支社 中部 関東 関西 営業所 札幌 福岡 広島 仙台 海外駐在員事務所 マレーシア |
| 子会社 | P.T.カネフサインドネシア カネフサUSA INC. カネフサヨーロッパB.V. 昆山兼房高科技刀具有限公司 昆山兼房精密刀具有限公司 カネフサインディアPvt.Ltd. 大口サービス株式会社 |

役員 (平成21年9月30日現在)

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 取締役社長 | 渡邊 将人 | 取締役 | 藤吉 芳久 |
| 専務取締役 | 太田 正志 | 取締役 | 富田 律男 |
| 常務取締役 | 板谷 精三 | 取締役 | 西尾 悟 |
| 常務取締役 | 稲葉 公男 | 取締役 | 春日 晃 |
| 常務取締役 | 平子 哲朗 | 取締役 | 萬谷 哲朗 |
| | | 常勤監査役 | 柳瀬 敏行 |
| | | 監査役 | 辻中 修 |
| | | 監査役 | 鮎澤 多俊 |

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 39,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 14,310,000株 |
| 株主数 | 1,752名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|----------------------|---------|---------|
| 大口興産株式会社 | 2,299 | 16.5 |
| 渡邊 裕子 | 1,180 | 8.4 |
| 太田 万佐子 | 1,141 | 8.2 |
| 渡邊 美奈子 | 885 | 6.3 |
| 兼房従業員持株会 | 884 | 6.3 |
| 渡邊 浩 | 783 | 5.6 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 686 | 4.9 |
| 渡邊 将人 | 410 | 2.9 |
| 太田 正志 | 383 | 2.7 |
| 株式会社りそな銀行 | 200 | 1.4 |

(注)上記のほか、当社は自己株式408千株を保有しております。

所有者別株式分布状況

